

令和4年度昇仙峡地域活性化推進協議会
第1回幹事会 議事概要

日 時 令和4年5月24日（火）午前10時～午前11時
場 所 やまなしプラザ1階 オープンスクエア東側
出席者 幹事長、幹事9名、幹事代理1名
事務局 2名

【第1回幹事会 議事概要】

- 1 開会
- 2 幹事長あいさつ
- 3 昇仙峡地域活性化計画 令和3年度（2021年度）事業実施報告及び収支決算について
⇒事務局より、資料に沿って説明。

【幹事】

資料1の⑫昇仙峡地帯のブランディング化に向けた調査研究事業は令和3年度に行われたのか。

【事務局】

当初は、ワーキンググループを立ち上げて実施する予定であったが、コロナウイルス感染症の感染拡大により、メンバーの選定や事業実施に制限がでてきたことから、令和4年度に実施することとした。

【幹事】

事業報告書3ページの構成文化財再発見事業の第2回がコロナウイルス感染症の関係で急遽中止になったという話があったが、このように中止になったイベントは、令和4年度に移行して行うのか。

【事務局】

市民向けの現地学習会については、令和4年度に拡大して開催する予定。直近では7月開催で広く参加者を募集し実施していく予定である。現地学習会は、各回テーマを決めて、四季を通して実施をしていく予定である。

【幹事長】

資料3の収支決算書について返還金が多くなっているが、予算の段階で、多く金額を見積

もっていたためであり、事業自体は、すべて完了しているのでご了承いただきたい。

中でも山梨県への返還金が多いが、それは、令和３年度に山梨県が所有する施設の整備について、また事業規模も大きかったため、契約差金などである。

4 昇仙峡地域活性化計画 令和４年度（２０２２年度）事業及び収支予算の一部修正について

⇒事務局より、資料に沿って説明。

【幹事長】

事業費について国の補助金の内示額が当初の要望額よりも少なくなっている。事業への影響は、ほとんどないと考えているため予定どおり進めていく。

山梨県、甲斐市、甲府市それぞれの負担金については、当初の予算のまま計上して事業を進めていく。基本的には国の補助金を使って事業を進めていくが、予定していない事業が出できた場合などに自治体からの負担金を充てることも想定し、一旦は、予定額をご負担いただく。

5 昇仙峡リバイバルプランの進捗状況について

⇒事務局より、資料に沿って説明。

【幹事長】

資料６ 昇仙峡リバイバルプランの進捗状況について、空欄になっている事業の中で、行ってきた取り組みや新しいアイデアがあれば事務局の方にご提案いただきたい。

6 その他

【幹事】

皆さんご存知のとおり昇仙峡は「特別名勝」に指定されている。その前に大正１２年に「名勝」に指定され、来年で１００周年を迎える。それに関して、昇仙峡観光協会の方でも何かイベントをしたいと考えている。協会だけでは力不足のため、山梨県・甲府市・甲斐市にご協力いただき集客イベントを開催したい。

【幹事長】

来年「名勝」に指定されて１００周年を迎える記念の年ということで、何かしら関連して昇仙峡を盛り上げていきたいと考えているので、協議会としても協力していきたいと考えている。

【幹事】

名勝指定１００年ということで、山梨県・甲府市・甲斐市・協議会として何ができるか考

えてきたので提案する。名勝１００周年、特別名勝７０周年ということで、何か１００周年事業のテーマを決めて実施していくのはどうかと考えている。テーマについては『持続可能な観光に取り組む昇仙峡』のイメージを強力にPRする機会と捉えて、「サステナブル・ツーリズム」ということを念頭に事業をしていくのはどうか。

イベント期間は２０２２年の１０月から名勝指定の来年３月を挟んで２０２３年の１０月までの約一年を予定している。

現在、夢の松島園地周辺の遊歩道が昨年の落石により通行止めとなっている。今年の秋には迂回路ができる予定ということで、そのタイミングでキックオフをしたいと考えている。他にも具体的なイベント案として、他の自治体の状況についてピックアップしている。京都の「天橋立」や京都・奈良の「月ヶ瀬」、静岡の「三保の松原」では、１００周年ということでイベントを開催している。協議会の方でもできそうなイベントを複数、アイディアベースで考えているので、これを参考に皆さんの中で１００周年をお祝いできるイベントができたらと考えている。

【幹事長】

来年１００周年ということで、アイディアや他都市の状況等をご説明いただいたが、これを参考にどういったことができるか何かアイディアがありましたら事務局にご提案いただきたい。

【幹事】

他都市では大きく行っているところやそうでないところ、実行委員会で少し行っているところもある。コロナ禍での開催ということで、全部が全部できているわけではないと思うが、もう少し調べる必要はあると思う。

令和４年度に国の補助金事業が終わってしまうということで、その後こういう形で予算の関係上できるかは不明だが、可能であれば今年度から実施していきたい。

【幹事長】

それぞれの団体の中で色々なイベント等を実施していると思うので、昇仙峡関連のものを１００周年に関連付けていくのはどうか。小さなことでも積み重ねて実施していきたい。

【幹事】

他の自治体はここ１、２年くらいに開催されたのか。

【幹事】

京都・奈良・静岡は１年早く名勝に指定されたので、１年前に開催された。

【事務局】

本協議会では、今年度も非常に多くの事業を予定しており、順次取り掛かっていく予定だが、情報はメール等を活用し共有していく。

また、市民・県民向けに広く情報発信と体験の場を創出していく観点から今年度はシンポジウムを開催していく。

シンポジウム内に取り入れたい要素など幹事の皆様のご意見を反映して作り込んでいきたいと考えているので、ご協力いただきたい。

【幹事長】

シンポジウムについては、まだ内容が固まっていないためアイディアがあれば事務局にご提案いただきたい。

今年度は、16の補助対象事業のうち7つの事業を実施していく。

⑫その他（昇仙峡地帯のブランディング化に向けた調査研究）事業では、2件の調査を実施。

⑯便益施設の設置（散策路等におけるベンチ等の設置）事業では、4件の整備を行うことから、個々の事業としては、多くの事業を行っていくこととなる。

先ほどのシンポジウムの開催についても、3年間の補助事業の集大成ということから、甲斐市・甲府市の多くの市民の皆様に、日本遺産のストーリーに触れる機会や昇仙峡エリアへ足を運んでいただけるような、有意義な事業にしていきたいと考えているので、ご理解とご協力をいただきたい。

7 閉会

午前10時40分終了